

平成 28 年度会津若松市要介護認定調査員 現任研修会アンケート結果

参加者(人)	回答者(人)
43	42

◎アンケートまとめ

1. 介護認定審査会委員が注目する調査項目のポイント

ア. とても良かった	イ. 良かった	ウ. ふつう	エ. いまいち
23	15	4	0

2. 特記事項の記載内容のポイント

ア. とても良かった	イ. 良かった	ウ. ふつう	エ. いまいち
25	13	4	0

3. 要介護認定調査員による調査員のための訪問マニュアル

ア. とても良かった	イ. 良かった	ウ. ふつう	エ. いまいち
23	16	1	1

4. グループワークについて

ア. とても良かった	イ. 良かった	ウ. ふつう	エ. いまいち
29	13	0	0

1. 介護認定審査会委員が注目する調査項目のポイント

ア. とても良かった	イ. 良かった	ウ. ふつう	エ. いまいち
23	15	4	0

ア. とても良かった

- ・審査会の概要がよくわからなかった部分があったので、今回知ることができてよかった。
- ・委員の方がどのポイントに重点を置いているかが分かり聞き取りの参考になりました。
- ・ポイントの再確認できた。
- ・判定のポイントがよくわかり、今後に活かすことができる。
- ・二次判定での注目ポイントが理解できた。
- ・審査会委員の方がどこに注目し判定しているのか知ることができた。
- ・具体的事例記載にて大変さんこうになりました。
- ・審査会の視点が少しでもわかった事で良かった。
- ・知ることで適切な介護度になるのでは？と思う。
- ・調査項目のポイントがわかりやすく大変参考になりました。
- ・審査会委員の注目するポイントは研修会で聞きとても良かった。今まで記入しなかった項目はこれから記入していかなければと思いました。
- ・ポイントや1件1分～2分で判断していることがわかり伝えやすく書く意識がより高くなった為。
- ・どこに重点をおいて聞き取りするかなどポイントがわかった。
- ・聞く機会が無いのでよいと思う。
- ・どのような書き方をすればアピールできるかがわかりました。
- ・特記事項を記載する上で参考になりました。
- ・判定ポイントが分かりやすかった。
- ・特記事項のポイントがわかった。

イ. 良かった

- ・初めて審査会での具体的な様子がわかった。
- 注目するポイントがあったという所が知れて良かったです。今後注目ポイントを意識しながら記入したいと思います。
- ・今後認定調査を行う上で、どのような点に注意して記載すれば良いかが理解できました。また、改めて、認定審査会がどのような形で行われているのかを知ることが出来た。
 - ・介護認定審査会は概況調査の内容からイメージを膨らませてから特記事項を読んでいることわかった。変更申請の理由を書く。
 - ・審査会がもとめるポイントを聞いた。
 - ・調査の書き方にも気を付けていきたいと思った。調査員として意識を持っていきたいと思った。
 - ・記入した方が良い事がわかった。概況調査の内容から、イメージを膨らませてから特記事項を読んでいることが分かった。
 - ・再確認することができたので良かった。
 - ・認定審査会の流れが理解できた。
 - ・説明のあったポイントがあるので今後は気を付けて作成していく。
 - ・今後の調査で詳しく聞きとれるようにポイントをすることができた。

2. 特記事項の記載内容のポイント

ア. とても良かった	イ. 良かった	ウ. ふつう	エ. いまいち
25	13	4	0

ア. とても良かった

- ・ 今後特記事項の記載で早速活かしていけるなと思いました。
- ・ 特記事項の記入例が大変ためになった。表現の仕方がよくわかった。ポイントの説明がわかりやすかった。
- ・ 記入の仕方の参考となり自分が判断に迷った時にもありがたいです。
- ・ 具体的な記入例と共に、細かい説明があり、わかりやすかった。
- ・ 今後の参考にさせていただきながら更に審査会の方々にわかりやすい特記を目指します。
- ・ 記入の仕方ですることが多々ありますが少し理解が深まった様に自分で思いました。
- ・ 分かりやすかった。
- ・ 記入方法の再確認が出来てとてもよかったです。
- ・ ポイントに合わせて記載内容が具体的に書かれてあったので良かったです。
- ・ これから認定調査員として訪問するに当たり聴き取りのポイントなど参考になりました。
- ・ 具体的にたくさんの事例があったのでわかりやすかった。
- ・ 日頃思っていることを話合えた。
- ・ 注意すべき記載の仕方が明確になった。
- ・ 何度聞いても良い内容であると思う。
- ・ 今までの記載の不備が理解できた。
- ・ 自分の経験の中で状態像が言葉でパターン化しているのではと振り返りができた。
- ・ 特記事項の書き方勉強になります。
- ・ 以前何度か問い合わせを受けていて、その時々で答えていたが、何故問合せがあったのか再度確認できた。
- ・ 特記事項を記載する上で参考になりました。
- ・ いつも例文が参考になると思っていたので、特記事項が詳しく書いてあり良かった。

イ. 良かった

- ・ 2-5・2-6に分けて記入する事等学んだ。
- ・ 具体的な例があると納得できる事もあり、より理解が得られやすいです。
- ・ ①同様、介護認定審査会で審査員が注意してみるポイントを知ることができた。
- ・ 特記事項で介護の手間をしっかりと判断して頂けるのとこのことで細かく書くことがわかった。
- ・ 再確認ができた。
- ・ 「できる」「できない」全ての状況が本人を知るには必要と改めて実感。
- ・ テキストと違い、具体的な文言で今後の参考になる。
- ・ 特記の事例がたくさん載っていたので参考にしていきたいと思います。4群の事例も見つけた。記入に迷うことが多い。
- ・ 実際に迷っていることが明らかになった。

3. 要介護認定調査員による調査員のための訪問マニュアル

ア. とても良かった	イ. 良かった	ウ. ふつう	エ. いまいち
23	16	1	1

ア. とても良かった

- ・改めて日頃自分がどう調査しているか振り返りができた。自分でも気が付かない NG ワードに気付けた。（「名前で呼ぶ」と抵抗持たれる方がいる等）
- ・具体的な聞き方が記載されており参考になった。いつも苦労している項目のポイントが今後活かせる内容でした。
- ・知らないお宅へ調査に伺うことはストレスとなり大変なことなのでマニュアルがあるととても助かります。
- ・言葉かけの仕方や方法が具体的に記載されていて今後の参考になると思います。
- ・今後の参考にさせていただきます。
- ・とても具体的な例が出ていて、これからの調査に活用していきたいと思いました。
- ・今後役に立っていく。
- ・訪問マニュアル通りの事を殆ど行っていたが、違う聞き方等あったので参考になりました。
- ・自分でできていないこと等振り返りができた為。
- ・「市役所のせい」はいらぬ。話がややこしくなる。
- ・何年も行ってきたがマニュアルがあると新人さんたちには分かりやすく私たちも指導しやすいと思います。
- ・迷っていた部分が明確となった。
- ・具体的な内容でイメージしやすい
- ・マニュアル大変勉強になります。
- ・出来上がると新人の調査員にとって心強い。
- ・新人のときにあれば助かったです。詳しく書かれてあり素晴らしいです。
- ・自分の行っている行動で良いと言う事もわかったことと、又スムーズに行う為の声掛けの例が良かった。

イ. 良かった

- ・常日頃気を付けているとおもってはいたが、再認識できた。
- ・同じ言葉かけでも誤解を招くことがあるので場面場面での注意が必要だと思う。
- ・NG ワード、NG 行動などが参考になった。
- ・調査時は知らないお宅に行くので、失礼のない様に気を付けてはいますが、マニュアルを読んで、対応の仕方について再確認出来ました。
- ・一定のマニュアルがあることで、基本的な対応を考えることができた。
- ・完成したら欲しいです。他の事業所の意見も聞けた。
- ・振り返りができ、すぐに役に立てる内容だった。
- ・自分の調査の方法について振り返りができたと思います。ちゃんとやっている、と思っていた事も、実はそうでなかったと気が付けて良かったです。
- ・調査員として参考になります。

ウ. ふつう

- ・とてもよく出来ているマニュアルで良かった。参考になった。

4. グループワークについて

ア. とても良かった	イ. 良かった	ウ. ふつう	エ. いまいち
29	13	0	0

ア. とても良かった

- ・グループで共感できたり、違う意見が聞かれたりとても参考になりました。
- ・他調査員さんの工夫がとてもためになった。
- ・様々な意見が聞けて良かった。
- ・グループでは皆さん同じ思いの方がいたり勉強になることが多かった。
- ・実際調査を行っていらっしゃる方々との工夫しているところ等をお聞きすることができ、とても勉強になりました。
- ・参加者で活発にディスカッション事例等の話し合いができ勉強させていただきました。
- ・ザックバランに話ができて良かったです。
- ・いろいろ意見が聞けた。
- ・大変楽しくグループワークが進められました。
- ・調査員さんと交流がなかなか取れないので、同じように感じているのだなと思いました。調査の時は一度会って記入しているのできちんと聞き取り行って調査する事を再確認しました。
- ・いろいろ意見や経験などが聴けて良かったです。
- ・各人の調査時に気を付けていることを教えてもらい勉強になった。
- ・打ち解けて話せた。
- ・同じような境遇で調査していることがわかった。
- ・共感してもらおうと安心。
- ・読み合わせをする事で自分に欠けているところを気付かされました。
- ・いろいろな意見が出た。話しやすい雰囲気だった。
- ・一人作業なので、実際の調査法を個々に意見出し合いできた。同じ思いをして行っていることで気持ちが楽になった。
- ・和気あいあいと自分の経験等も話ができて良かった。
- ・資料にない経験談を聞くことができた。
- ・意見交換ができたので。(苦労話からアドバイス)
- ・色々な人の対応について聞けて今後の調査の参考になった。
- ・それぞれの方々が工夫している点などとても参考になった。

イ. 良かった

- ・他の調査員の話がきけたので今後に活かしていきたい。
- ・グループワークを行うと他の居宅のCMさんと情報交換や意見交換ができるので良いです。
- ・他の事業所の方と情報交換する事ができた。
- ・まだ、認定調査をしたことがなかった。雰囲気味わえただけでも良かった。
- ・他事業所の意見を聞けて良かった。
- ・いろんな方の話を聞けてよかった。
- ・他の調査員と悩みを共有できた。改善につながればいいなと思います。
- ・改めて確認できた良かったです。
- ・調査を行うにあたって聞きにくいものや判断のしにくいものなどに関して他の調査員の意見を聞いた事で参考になった。

- 他の事業所についての話が聞けて良かったです。
- 調査員の悩みが共有できた。

5. その他自由記載

- 頑張ります。
- いつも不十分な調査票でお手数おかけしています。今後は明確な内容が記入できるよう今回のマニュアルを活かしたいと思えます。
- グループワークにつきましては、他の方々の意見が大変参考になりました。又引き続き勉強会楽しみにしています。
- 調査の大変な所も日々感じているので研修会へは出来るだけ参加したいと思えますので、これからも宜しくお願い致します。
- 訪問時の苦労等が聞け、自分ばかりでないと安心しました。
- 今後も宜しくお願いします。
- また頑張ります。
- 研修後数カ月たつと注意事項、ポイントが薄れて行ってしまうので、定期的な研修特にグループワークは必要と思う。市の調査員が統一した調査ができるのにもつながると思う。またよろしくをお願いします。
- 今回の研修会を参考に調査頑張ります。
- 調査員の仕事をしていないケアマネに対する市からの申請に関する指導や助言等の機会があると助かります。(なかなか難しとは思いますが…)
- 沢山の資料参考にしたいと思います。いつもありがとうございました。
- 自分はまだまだ未熟であると感じた。勉強が必要。

◎その他、グループワークで出た意見等

ケアマネジャーに対する要望	今後の対応等の検討
<ul style="list-style-type: none"> ・当日に本人入院していた。担当ケアマネジャーが市に連絡した方がいい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・申請書の記入の仕方や、土日、時間外等の調査についてなど整理し、居宅介護支援事業所及び地域包括支援センターに対して説明会やお知らせを作成するなどの検討も必要と考える。
<ul style="list-style-type: none"> ・最近状態が悪かった時に申請書に一言書いて連絡するようにする。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・日曜日に調査の依頼があった場合は事業所間で調整してください。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・仕事の関係等で時間外調査も入ることがある。 	

調査の疑問点	今後の対応等の検討
<ul style="list-style-type: none"> ・担当利用者の調査票を見ると調査員の聞きとりがきちんとなされていない事があった。全介助になっていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会や個別確認時に指導をしているが、特記事項の記載の仕方には個人差がある為、今後も平準化の為その都度確認作業をしていく。

連絡先等について	今後の対応等の検討
<ul style="list-style-type: none"> ・調査時間を勤務時間内をお願いしたい。調査時18時以降でないと無理だと言われることもある。土曜日しか無理と言われることもある。担当ケアマネさんが確認をとって申請してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査の訪問日や時間等は、各地域包括支援センターや居宅介護支援事業所のケアマネジャーと連携し、ご家族に協力を頂いたりご理解いただく必要がある為、今後の検討課題である。 ・また、申請書の連絡先等の記載についても、入力の際にも注意が必要。
<ul style="list-style-type: none"> ・連絡先は出来るだけ1つにしてほしい。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・電話番号が間違っていることもあるので注意して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・申請書の様式変更をして連絡事項を記載してもらい、伝えることができるようになってきた。 ・事業所の名札は事業所名が書かれている為提示しない事業所が多い為、調査員証を提示するようにしている。しかし、調査員証のフォントが小さい為、高齢者に対する確認には不向きとの意見が多数あった。調査員証の名前を大きくする等変更を検討したい。 ・今回の訪問マニュアルに掲載した例を参考にし対応して頂きたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・自宅以外の住所がある場合、ケアマネは必ず記載しますので高齢福祉課も調査票への記載漏れのないようお願い致します。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・最近調査依頼にデイの利用日や駐車場が書いてある事が多く調整しやすい。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・調査員証の名前は大きく。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・家族から要支援にしてほしいと言われる。 	

調査の疑問点	今後の対応等の検討
<ul style="list-style-type: none"> ・名刺を置くなど（調査員）しない 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の訪問マニュアルに掲載した。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業所によって調査時のアポで事業所名を言わないとなっている（マニュアルで） 	
<ul style="list-style-type: none"> ・排泄面は聞くときに少し聞きにくい。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・独居で詳しく聞けない時に「担当CMへ聞いていいか？」と家族へ聞いて確認する時もあります。（この言葉もマニュアルに入れて欲しい） 	
<ul style="list-style-type: none"> ・家族が介護にあまり関わってなく、状況が把握できていない方には事業所や担当ケアマネに連絡取って良いか確認している。 	